

## 第10回 医療看護研究会 プログラム

日時：平成26年3月7日（金） 9時30分～15時30分  
会場：12教室（講演・口演） 20・22・24教室（ポスター）

時 間	内 容																					
9:30～9:35	オリエンテーション <span style="float: right;">総合司会 櫻井しのぶ</span>																					
9:35～9:40	開会の挨拶 <span style="float: right;">医療看護学部長 岡田 隆夫</span>																					
9:40～11:00	講演 <span style="float: right;">司会 青木きよ子</span>																					
	「質的研究法・概説——エスノグラフィー的手法を中心にして」 佐藤郁哉先生（一橋大学大学院商学研究科 教授）																					
11:00～11:10	休憩																					
11:10～12:20	第1群 口演 <span style="float: right;">司会 山倉文幸・湯浅美千代</span>																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 65%;">1. 呼吸器疾患領域における患者会とのコラボレーションと今後の課題</td> <td style="width: 15%;">医療看護学部</td> <td style="width: 20%;">植木 純</td> </tr> <tr> <td>2. スフィンゴシンーリン酸によるヒト表皮ケラチノサイトの遺伝子発現応答への影響について</td> <td>医療看護学部</td> <td>岩渕和久</td> </tr> <tr> <td>3. 日本の医療思想史と予防接種史</td> <td>医療看護学部</td> <td>渡部幹夫</td> </tr> <tr> <td>4. レビー小体型認知症患者の経口摂取継続への介入</td> <td>江東高齢者病院</td> <td>牛草聡子</td> </tr> <tr> <td>5. 救命救急センターに就職した新卒看護師の勤務継続意欲に関連する思い—就職後8カ月目、9カ月目のインタビューを通して—</td> <td>浦安病院</td> <td>佐藤和子</td> </tr> <tr> <td>6. 長期入院患者への退院支援～精神看護専門看護師としてのチームへのアプローチ～</td> <td>越谷病院</td> <td>宮本 晶</td> </tr> <tr> <td>7. 看護学生の自己調整学習方略と援助要請行動・教師の支援行動との関連性の検討</td> <td>医療看護学部</td> <td>村中陽子</td> </tr> </table>	1. 呼吸器疾患領域における患者会とのコラボレーションと今後の課題	医療看護学部	植木 純	2. スフィンゴシンーリン酸によるヒト表皮ケラチノサイトの遺伝子発現応答への影響について	医療看護学部	岩渕和久	3. 日本の医療思想史と予防接種史	医療看護学部	渡部幹夫	4. レビー小体型認知症患者の経口摂取継続への介入	江東高齢者病院	牛草聡子	5. 救命救急センターに就職した新卒看護師の勤務継続意欲に関連する思い—就職後8カ月目、9カ月目のインタビューを通して—	浦安病院	佐藤和子	6. 長期入院患者への退院支援～精神看護専門看護師としてのチームへのアプローチ～	越谷病院	宮本 晶	7. 看護学生の自己調整学習方略と援助要請行動・教師の支援行動との関連性の検討	医療看護学部	村中陽子
1. 呼吸器疾患領域における患者会とのコラボレーションと今後の課題	医療看護学部	植木 純																				
2. スフィンゴシンーリン酸によるヒト表皮ケラチノサイトの遺伝子発現応答への影響について	医療看護学部	岩渕和久																				
3. 日本の医療思想史と予防接種史	医療看護学部	渡部幹夫																				
4. レビー小体型認知症患者の経口摂取継続への介入	江東高齢者病院	牛草聡子																				
5. 救命救急センターに就職した新卒看護師の勤務継続意欲に関連する思い—就職後8カ月目、9カ月目のインタビューを通して—	浦安病院	佐藤和子																				
6. 長期入院患者への退院支援～精神看護専門看護師としてのチームへのアプローチ～	越谷病院	宮本 晶																				
7. 看護学生の自己調整学習方略と援助要請行動・教師の支援行動との関連性の検討	医療看護学部	村中陽子																				
12:20～13:30	昼食																					
13:30～15:10	第2群 ポスターセッション【1】 司会 岡本明美 ポスターセッション【2】 司会 西田みゆき ポスターセッション【3】 司会 熊谷たまき																					
15:10～15:25	休憩																					
15:25～15:30	閉会の挨拶 <span style="float: right;">研究委員会委員長 櫻井しのぶ</span>																					

## 定年退職記念講演会

日時：平成26年3月7日（金） 15時45分～17時15分  
会場：12教室

時 間	講演タイトル	講演者
15:45～16:15	看護職はライフサポーター	前任准教授 樋口 キエ子
16:15～16:45	日本近代医学の祖となったヨーロッパ医学—英国、オランダ、ドイツの医史跡と博物館で考えたこと—	教授 渡部 幹夫
16:45～17:15	活性酸素と私	教授 山倉 文幸

2 0 教室	A-1	医療看護学部	岡本明美	がん患者に積極的治療の中止を伝えるプロセスにおいて医師が看護師に期待する支援
	A-2	医療看護学部	宮津珠恵	外来通院中の乳がん患者を対象とする国内看護研究の現状と課題
	A-3	医療看護学部	齋藤尚子	がん検診受診率向上の取り組みに関する文献検討
	A-4	順天堂医院	中野真理子	がん相談・支援センターにおけるがん看護専門看護師の相談支援の現状と課題
	A-5	練馬病院	森岡美由紀	相談業務における継続的支援の意義～外来乳がん患者の持つ不安への関わり～
	A-6	医療看護学部	三宮有里	キャリアトランジションにある看護職へのメンタリングに関する研究
	A-7	医療看護学部	阿部美香	看護師の患者に向けた認知に関する文献レビュー
	A-8	医療看護学部	長瀬雅子	急性期病院の神経難病ケアにおける看護師の専心と葛藤
	A-9	練馬病院	岡部芳昭	新人看護師が関わった事故の変化 ～ブリーフィング・デブリーフィング導入前後の比較～
	A-10	順天堂医院	鈴木さゆり	当院のJ-STAT CALLの現状と課題
	A-11	医療看護学部	羽場香織	成人難聴者の人工内耳装用後の体験 - 装用者の手記の分析から -
	A-12	医療看護学部	樋野恵子	日本初の近代翻訳看護書に関する史的考察
	A-13	医療看護学部	黛 道子	看護系大学における英語教育—英語教員から見た現状と課題
	A-14	医療看護学部	宮津多美子	シカゴ・コロンビア万博における人種とジェンダー
2 2 教室	B-1	医療看護学部	西田みゆき	支援教材を用いた排便障害児家族への退院指導 —退院指導の時期に焦点を当てて—
	B-2	練馬病院	塚越さや香	小児病棟に入院している18トリソミーの子どもに対する状態悪化時の看護
	B-3	医療看護学部	込山洋美	在宅自己注射による成長ホルモン治療を受ける子どもと家族に関する文献検討
	B-4	医療看護学部	古屋千晶	小児看護学における看護技術演習が臨地実習に及ぼす影響
	B-5	順天堂医院	竹上亜紗子	胎児心拍波形分類level3での急速遂娩を行い良好な経過を得た胎児母体間輸血症候群の1例
	B-6	医療看護学部	青柳優子	分娩期ケアにおける不妊関連情報の活用に関する研究
	B-7	医療看護学部	永野光子	看護基礎教育課程における卒業前教育に関する研究の動向 —看護技術教育に焦点をあてて—
	B-8	医療看護学部	斉藤雪絵	臨地実習における看護学生のメタ認知が促進するプロセス
	B-9	医療看護学部	栗子嘉美	周術期実習中に行う学内演習の効果—臨床指導者参画の意義—
	B-10	医療看護学部	桑江久美子	協働的パートナーシップを活用した看護介入の効果に関する研究の動向
	B-11	医療看護学部	高谷真由美	慢性心不全患者のセルフケア指導におけるタブレット型PCを用いた教材の効果
	B-12	医療看護学部	上野恭子	緩和ケア患者に対する高度実践看護師の共感プロセス
	B-13	医療看護学部	大園康文	緩和ケア病棟で使用する自施設評価票の信頼性・妥当性検証研究
	B-14	医療看護学部	原田静香	退院前合同カンファレンスに関する患者家族の受容のプロセス —在宅療養での看取りを検討する家族を対象として—
2 4 教室	C-1	医療看護学部	熊谷たまき	日本の一般病院と精神科病院の看護師が受ける職場暴力と外傷後ストレス障害に関する調査研究
	C-2	医療看護学部	飯島佐知子	事業所のメンタルヘルス対策の実施状況と効果に関する研究
	C-3	医療看護学部	小谷野康子	弁証法的行動療法主要4スキルの有効性 —衝動性に問題のある1事例への2年間の介入評価—
	C-4	医療看護学部	中山仁志	自然免疫細胞におけるスフィンゴ糖脂質を介した病原微生物の認識機構について
	C-5	医療看護学部	山倉文幸	抗6-ニトロトリプトファン抗体を用いた血漿中の疾患特異的マーカーの探索
	C-6	医療看護学部	横山久美	鼻腔および便中のメチシリン耐性コアグラウゼ陰性ブドウ球菌の検出と同姓性の比較検討
	C-7	医療看護学部	島田広美	内部障害を有する高齢入院患者の廃用症候群予防の為の介入基準と看護方法の開発
	C-8	医療看護学部	田中朋子	慢性呼吸不全・COPD患者の意思決定支援に関する研究
	C-9	浦安病院	井上真弓	ゴリムマブを投与するリウマチ患者の不安の変化と看護介入の効果 —不安軽減を目的とした看護介入を行って—
	C-10	医療看護学部	樋口キエ子	修正版在宅療養移行時アセスメントシート使用後の訪問看護師の評価
	C-11	医療看護学部	小竹久実子	退院1年後の喉頭摘出者の生活の実態と課題—インタビュー調査から—
	C-12	医療看護学部	中山久子	発達障害児の運動プログラム参加に対する保護者の視点から見た意義 第2報
	C-13	医療看護学部	櫻井しのぶ	地域組織活動を行う住民の保健師に対する要望